



第94号

発行所

社会福祉法人

大阪狭山市社会福祉協議会

〒589-0021

大阪狭山市今熊1丁目85番地

TEL 072-367-1761

FAX 072-366-7407

E-mail sayama@bf.wakwak.com

URL www.osaka-sayama.or.jp/

- 目次
- おおさかさまの社協……………1～4
 - ボランティアだより……………5～8
 - 福祉センターだより(裏表紙)…1～4

赤い羽根共同募金にご協力を！

(一般募金・歳末たすけあい募金)

赤い羽根共同募金は、地域福祉の推進を目的に「社会福祉法」に基づいて、今年も10月1日から全国一斉に展開されます。皆様からお寄せいただいた寄付金は大阪狭山市内の社会福祉施設、福祉団体、福祉活動に役立てられます。

期間

10月1日(月)

～12月31日(月)

※天候等により延期の場合があります。

日時：10月1日(月)
18時～19時
場所：狭山駅
大阪狭山市駅
金剛駅



街頭募金をおこないます

共同募金の使いみち



一人暮らし老人会食会



子育てサロン



ボランティア活動



小地域ネットワーク活動



※この他、災害時には「災害ボランティアセンター」の設置・運営などにも役立てられます。

歳末たすけあい募金配分金申請受付中

大阪狭山市内の福祉団体などに歳末たすけあい募金の寄付金を配分します。12月から翌年1月までに実施する事業が対象です。事業内容などについては事前審査があります。詳しくはお問い合わせください。
受付期間 10月19日(金)まで ※土、日、祝日を除く

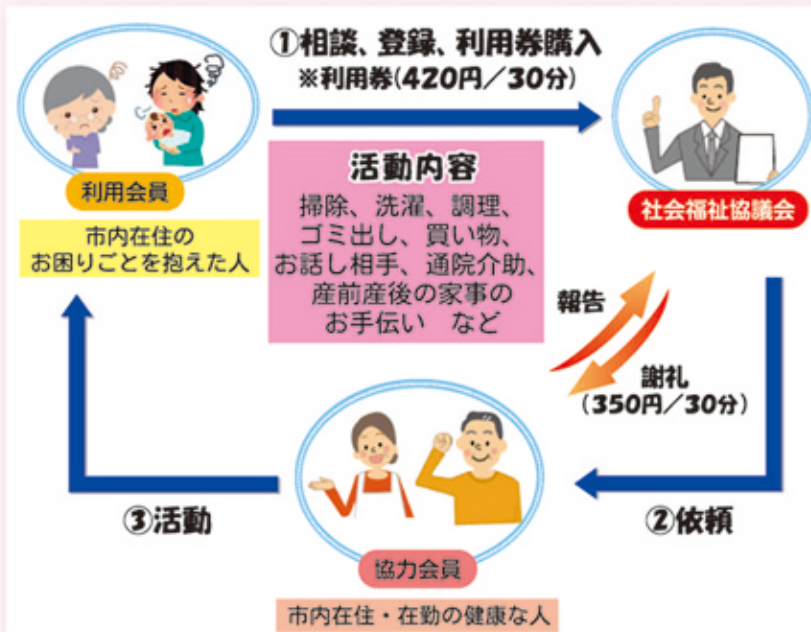
お問い合わせは 大阪狭山地区募金会事務局 ☎072-367-1761

有償ボランティア募集!!

地域の助け合い・
支え合い活動空いた時間にできる範囲でできること、
あなたもはじめてみませんか。

ヒューマン・ケア事業

高齢者、障がい者、ひとり親家庭の方など、日常生活において支援が必要な方（利用会員）と、地域福祉に理解があり、お困りの方に対して家事や介護などの支援ができる方（協力会員）からなる会員制の事業です。



協力会員について

→登録いただいている方は、

- ・仕事の合間に活動する50代女性
- ・主婦の経験を活かし、ボランティアがしたいという60代女性
- ・空いた時間に、人のためにできることをしたいという70代男性 など

協力会員の声



- 職場から近いので、仕事の帰りにボランティア活動をしています。空いた時間にできることがあったので、ヒューマン・ケア事業に登録しました。自分のペースで活動できるので、ありがたいです。
(50代女性)
- 利用会員さんとの相談で、定期的な通院の付き添いをしています。ボランティア活動が自身の健康にもつながっています。
(60代女性)
- 定年退職し、空いた時間で何かできればと思い登録しました。できる範囲で、無理なく活動しています。利用者さんの「ありがとう」が、今では私の元気の源です。
(70代男性)

協力会員の活動状況

例えば・・・

→主な内容は??

- ・身体障がいの方がお住まいの二階の部屋の掃除や、洗濯等の家事
 - ・高齢者の方の、病院までの付き添いやお話し相手
 - ・ゴミ出し、買い物の支援 など
- ※専門的な資格や技術は必要ありません。
できる時間にできる内容を相談しながら調整しますので、お気軽にご登録ください。

地区福祉委員会主催 ふれあい広場のご案内

◎ふれあい広場とは…

地域の福祉委員が中心となり、PTAや市内福祉施設など様々な団体の協力のもと、美味しい食べ物やゲームの屋台がたくさん並ぶふれあい広場を開催します。地域の子どもから高齢者まで誰もが楽しめる、年に一度の笑顔あふれる楽しいイベントです。どなたでも大歓迎です!



南第三小学校 模擬店の様子



南第一小学校 狭山高校ダンス部による舞台

南第三地区福祉委員会
ふれあい広場日時：10月14日(日)
10:00～

場所：南第三小学校

狭山地区福祉委員会
ふれあい広場日時：10月28日(日)
10:00～

場所：東小学校

南第一地区福祉委員会
ふれあい広場日時：11月10日(土)
12:00～

場所：南第一小学校

南第二地区福祉委員会
ふれあい広場日時：11月18日(日)
10:00～

場所：南第二小学校

救急医療情報キットを配布中!!



救急医療情報キットとは

医療情報などを冷蔵庫に保管し、緊急時に必要な情報を確実に救急隊員に伝えるための道具です。

冷蔵庫の扉に貼る
マグネット

《配布対象》

大阪狭山市内に在住の方で、

- ① 65歳以上のひとり暮らし世帯
 - ② 65歳以上の高齢者だけの世帯
 - ③ 日中や夜間に65歳以上でひとりになる世帯
 - ④ 日中や夜間に65歳以上の高齢者だけになる世帯
 - ⑤ 身体障がい者手帳1級・2級、療育手帳A・B判定、精神障がい者保健福祉手帳1級の手帳を保持している人
 - ⑥ 特定疾患に罹患している人で、特定疾患医療受給者証を保持している人
- ※上記の配布対象となる方で、希望される方に無料で配布します。



《申請方法》

社会福祉協議会、さやま荘、市役所福祉グループ、高齢介護グループ、ニュータウン連絡所に設置する申請書に必要事項を書いて、申請書設置窓口へ提出してください。

※家族や関係者(民生委員、ケアマネジャー、ヘルパーなど)による代理申請もできます。

《申請に必要なもの》

申請事由が確認できる書類(健康保険証、障がい者手帳、特定疾患医療受給者証)など

※高齢者一人暮らし台帳に登録されている方については、申請の必要はありません。

※すでにお持ちの方で、緊急連絡先など安心カードの情報が変更した場合は、必ず訂正をお願いします。

○こんなお声をいただいております!

- ・必要な医療情報を知ることができるので、迅速な処置に繋がります。(救急隊員より)
- ・冷蔵庫に置いてあるということが、いざというときのための安心感につながります。(80代女性)
- ・自分の健康チェックや、緊急時の対処を日頃からシュミレーションするきっかけに利用しています。(70代男性)
- ・キットの配布が対象者との関係づくりのきっかけになります。(民生委員男性)

新任職員 紹介

新しく職員となりました
よろしくお願いします



地域生活支援課
地域包括支援センター
主任ケアマネジャー・
認知症初期集中支援チーム担当
岩根 富久子

STEP 3

就活の準備をする
例えば…
○面接や履歴書の書き方を練習する
○パソコン操作を身に付ける
○職場見学や就労体験をする
○希望の職種や働くことのイメージを考える

STEP 2

社会生活に慣れる
例えば…
○協調性やコミュニケーション力を高める
○礼儀やマナーを身に付ける
○社会とのつながりを意識し、ボランティア活動や地域の行事などに積極的に参加する

STEP 1

日常生活を整える
例えば…
○早寝・早起き・整容など規則正しい生活習慣を身に付ける
○決まった時間に決まった場所へ出かける

就労準備支援センターでは、他者とのコミュニケーションや社会との関わりに不安があり、経済的または社会的、その他の理由により、すぐには就労が難しい生活困窮者を対象に、日常生活自立・社会生活自立・就労自立を支援します。

大阪狭山市

就労準備支援センター

生活困窮者
自立支援制度

居場所 ～IBASHO～

- 火曜日と金曜日の午後はセンターを「居場所」として開放しています。
 - 金曜日は勉強会やスキルアップのためのプログラムに参加します。
- ※曜日・時間は変更される場合があります。



〒589-0005

大阪狭山市狭山2丁目898-7 サンシャイン狭山301

電話 080-3727-2365

受付時間午前9時～午後5時30分

(土・日・祝日・12月29日～1月3日を除く)



